



学校だより

～立花小学校は令和5年3月に創立150周年を迎えます～

たちばな

2023年2月28日

尼崎市立立花小学校
校長 植木 加代子

令和4年度のしめくくりは、創立150年の節目とともに

早いもので、令和4年度もしめくくりの3月を迎えました。コロナ禍の対応をしつつも通常の行事の実施に戻していく中で、各ご家庭や地域の皆様には多大なるご理解とご協力をいただき、心より感謝を申し上げます。気温は緩んできましたが気は緩めず、子どもたちの学習や生活の振り返りをしながら次の学年に向けての自覚を促し、達成感を味わわせて次へ向かわせたいと思います。引き続きご理解ご協力をお願いいたします。

6年生はもうすぐ卒業です。最高学年として手本となる生活態度を示そうと、仲間のきずなを強めています。5年生も次の最高学年だという自覚と良い緊張感が生活態度に現れています。どちらも頼もしい限りです。

1年生は幼稚園保育所に小学校の紹介動画を製作中で、懸命に校内の動画撮影をしている姿が見られ、1年間の成長を感じています。本当にどの学年もよく頑張ってくれました。時にはトラブルもありましたがその度に保護者様と学校が子どものために話し合う機会をもてたことは、まさにピンチをチャンスにでき、大人も子どもの失敗やトラブルから学ぶことは大きいと思いました。芽が小さいうちに早く対応を、が大事です。各種アンケートや校内での教育相談、カウンセリング、専門家との連携など、未然防止早期発見早期対応のために労を惜しまず取り組んでまいりました。今、登校が難しいお子さんについても、専門家と連携し、何らかのつながりをもつようにしています。どの子ども一人ひとりが大切な立花小学校の子どもたちとその保護者様です。

あまっ子ステップ・アップ調査の結果が出ました。学校で経年分析をしているところですが、全校的に努力の成果と伸びが見られました。学校での協働的な主体的対話的で深い学びと、タブレットを活用した個別最適化学習、そして本校独自に系統立てた内容の昼帯「ぐんのび学習」に、全校で毎日集中して取り組んだ成果が最も表れていました。家庭学習の在り方は今後の課題として模索していきます。

幼保小連携モデル校2年目の今年度、立花幼稚園や大西保育所と連携した活動や教員研修を続け、全学年がそれぞれにカリキュラムマネジメントを工夫して参加しました。お兄さんお姉さんとして日頃見られない姿から大きな成長を感じました。特に入学当初の1年生へのスタートアップカリキュラムは新たな取り組みでしたが有意義だったと実感しています。本校の取組を全市発表させていただく機会も得、他校から大きな反響があります。

学校評価も多数のご協力ありがとうございました。今年度よりコミュニティスクールとなり、Googleformを使った連絡も実施しました。150周年の節目に周年行事実行委員会も、地域の皆様やPTA執行部を中心に活動いただいています。子どもたちが考えたロゴをあしらったポスターも地域各所に掲示されています。

学年ごとの公園清掃「地域栗一作戰」も、立花小ハッピーネットの地域学校協働活動の一つとして、日頃の地域への感謝を込めて実施します。お近くの保護者や地域の方もご参加いただけましたら幸いです。

3月13日には1年間お世話になったボランティアの方への感謝の会を予定しています。3月3日は航空写真を撮影します。令和5年度10月には子どもたち主役のお祝いの会を、11月には市内の来賓をお呼びして記念式典を予定しています。先日はその皮切りとして文化庁によるオーケストラ鑑賞が実現し、本校150周年特別編曲の校歌も演奏され一緒に歌いました。コロナ禍からの卒業にも向けて、パーティションの撤去も3月中に行います。マスクを全面的に外す日も近づいてきました。今や顔の一部となっているため心理的に抵抗がある人も多いと思います。ご家庭でも話題にさせていただき、心の準備を徐々にしていただきますようお願いいたします。子どもたち皆が元気にこの学年を締めくくり次にジャンプできるよう、学校と家庭で頑張りましょう